

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年10月20日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	福岡県直方市	代表者名	直方市長 大塚 進弘		
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0949-25-2218		
担当者役職	課長・係長	担当者氏名	山中伸朗・貞光康	連絡先E-mail	
住所	822-8501 福岡県直方市殿町7番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は、セミナー準備のための打ち合わせを第一目的に支援を受けたが、「EBPMの推進」及び「オープンデータ化」における本市の課題や方向性（案）等についても、しっかりと意見交換し、的確なアドバイスをいただくことができた。推進にあたっては、 ①職員目線で、職員自身が使いたいと思うデータを用いて推進すること ②「オープンデータ」という存在を地域に知ってもらうこと（＝オープンデータについての情報発信）が、推進の最重要ポイントであること
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年10月3日	事前打合せ(オンライン)	有	令和4年10月18日	321
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年10月18日	事前打合せ（オンライン）	13時00分	14時30分	
				活動時間（分）	90
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	昨年度より、全庁を挙げてDX推進の取り組みを行っているが、「EBPM」や「オープンデータ」の推進という面において、組織風土的に弱い部分があり、職員の意識がついてきていない。「官民データを活用した地域づくり」や「オープンガバメント」という意識や組織風土そのものの醸成が課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本市では、今年度「全庁的なデータの棚卸し」を行い、「棚卸しデータの職員間での共有→オープンデータ化の推進」という事業の青写真を描いている。この事業の推進にあたり、①「職員の事業の目的に対する理解を深めてもらう」と同時に、②「データを切り口にした地域づくりや「オープンガバメント」という「マインドセット」を身に付けてもらうこと」を目指している。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・11/29・30に実施をお願いするセミナー（研修）のアウトライン作り ・本市より提示した方向性（案）を基に、意見交換を実施し、推進にあたっての心構え・アドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	①セミナー（研修）のアウトラインについて、認識を共有。 ②本市の「EBPMの推進」及び「オープンデータ化」に向けた「推進役」として気を付けるべき点と心	

(具体的にご記入下さい)	②本町の「EBPMの推進」及び「オープンデータ」に向け、推進役として取り組むべき無心構えのアドバイス。具体的には <ul style="list-style-type: none"> ・職員目線で、職員自身が使いたいと思うデータを用いて推進すること ・「オープンデータ」という存在を地域に知ってもらうこと（＝オープンデータについての情報発信）が最重要であること というポイントを認識することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	現時点では特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	①「EBPM」や「オープンデータ」を推進する目的について、職員に「気づき」を与え、②「データドリブンな行政を目指す」というスタンスを身に付けてもらうこと。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



